

三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

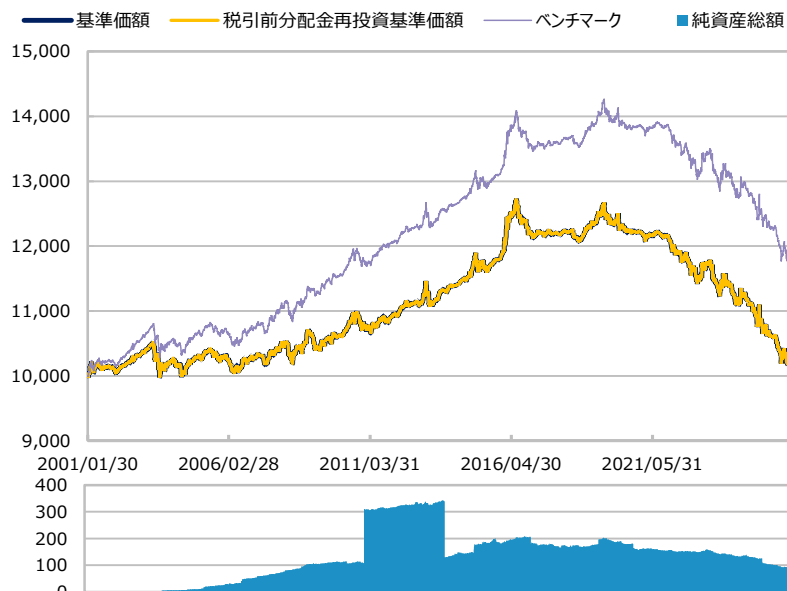
追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

ファンド設定日：2001年01月31日

日経新聞掲載名：LV日債

基準価額・純資産総額の推移（円・百万円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
 - 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
 - ベンチマークは、NOMURA-BPI（総合）です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。
- 詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	10,093	-57
純資産総額（百万円）	91	-2

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1カ月	2026/04/30	-0.6	-0.5
3カ月	2026/02/27	-2.9	-3.0
6カ月	2025/11/28	-4.0	-4.0
1年	2025/05/30	-5.9	-5.8
3年	2023/05/31	-13.9	-13.0
設定来	2001/01/31	0.9	16.8

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第21期	2022/01/31	0
第22期	2023/01/30	0
第23期	2024/01/30	0
第24期	2025/01/30	0
第25期	2026/01/30	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
債券	99.1	-0.0
先物等	0.0	0.0
現金等	0.9	+0.0
合計	100.0	0.0

運用概況

当月末の基準価額は、10,093円（前月比-57円）となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-0.6%となり、ベンチマークの月間騰落率は-0.5%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
 ※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・ライブビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

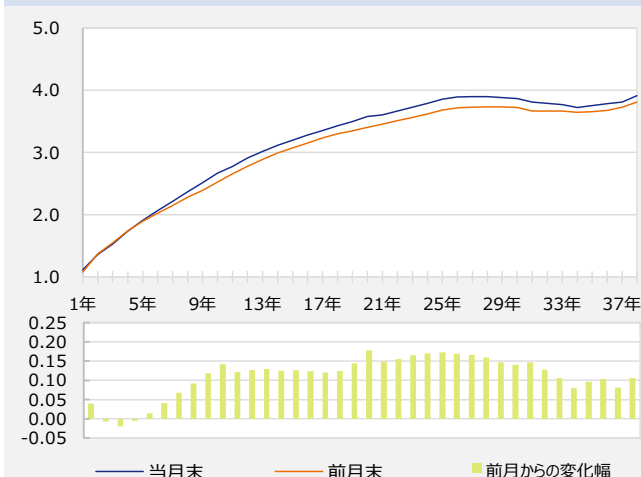
市場動向

10年国債利回り (%)



当月末：2.67% 前月末：2.53% 変化幅：0.14%

イールドカーブ (%)



市場動向

国内の長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。

上旬は、米・イラン間の交渉の行方が注目される中で、国内では大型連休も重なり、金利は概ね横ばいで推移しました。その後、トランプ大統領がイランからの回答を全く受け入れることができないと拒否したことから、原油価格の上昇とともに国内金利は上昇しました。また、国債入札が続いて需給環境が悪化したことや、日銀審議委員からタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な発信が続いたこと、政府が補正予算の編成に動いたことなども金利上昇が進む材料となりました。月末にかけては、米・イラン間での停戦延長に向けた動きを背景に原油価格が下落したため、金利は上昇幅を縮小しました。

市場見通し

国内景気は、目先は原油高による足踏みを見込むものの、その後は経済対策や企業の根強い設備投資意欲を支えに成長軌道をたどる見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、足元で鈍化しているものの、先行きはエネルギー価格の上昇により+2%を上回って推移する見通しです。日銀は実質金利が依然低いとの見方から、今後も政策金利の引き上げを継続する見通しです。責任ある積極財政の方針を掲げる政府の財政政策への警戒も高まりやすく、金利は上昇しやすい環境が続く見込みです。また、原油価格の動きは市場のインフレ見通しへの影響が大きいため、中東情勢には引き続き注目が集まる見込みです。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
債券	-52	+10	-62
先物等	0	0	0
分配金	0	-	-
その他	-5	-	-
合計	-57	+10	-62

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

ポートフォリオ特性値

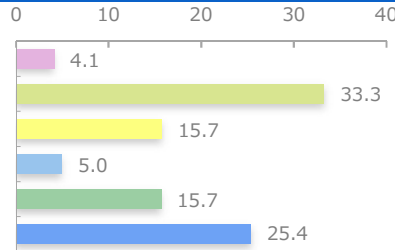
	当月末	前月比
クーポン（％）	1.2	-0.0
残存年数（年）	8.0	-1.4
デュレーション（年）	6.8	-1.3
直接利回り（％）	1.3	-0.0
最終利回り（％）	2.1	-0.1

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

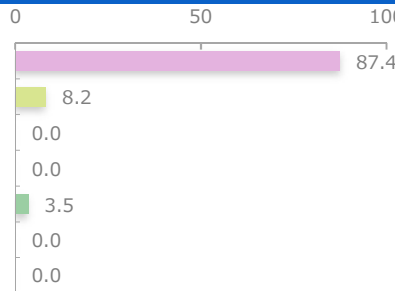
残存構成比率（％）

	当月末	前月比
1年未満	4.1	-0.1
1-3年	33.3	+17.1
3-5年	15.7	-1.2
5-7年	5.0	-0.1
7-10年	15.7	-12.3
10年以上	25.4	-3.5



種別構成比率（％）

	当月末	前月比
国債	87.4	+0.2
地方債	8.2	-0.1
政府機関債	0.0	0.0
金融債	0.0	0.0
事業債	3.5	-0.1
円建外債	0.0	0.0
その他債券	0.0	0.0



組入上位10銘柄

（組入銘柄数 104）

銘柄	種別	償還日	クーポン（％）	残存年数（年）	比率（％）
1 484 2年国債	国債	2028/05/01	1.400	1.9	14.5
2 483 2年国債	国債	2028/04/01	1.400	1.8	4.7
3 178 5年国債	国債	2030/03/20	1.000	3.8	4.3
4 156 5年国債	国債	2027/12/20	0.200	1.6	3.2
5 167 5年国債	国債	2029/03/20	0.400	2.8	2.8
6 25-5 愛知県15年	地方債	2028/06/19	1.339	2.1	2.4
7 149 20年国債	国債	2034/06/20	1.500	8.1	2.4
8 184 5年国債	国債	2031/03/20	1.800	4.8	2.2
9 372 10年国債	国債	2033/09/20	0.800	7.3	2.0
10 199 住宅支援機構	事業債	2027/01/20	0.200	0.6	2.0

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「国内債券マザーファンド（D号）」の情報を記載しています。

運用経過

デュレーション（投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度）は、中東情勢の改善が進まない中で国債入札が続くことが金利上昇につながると想定し、中旬にロング（長め）からショート（短め）へ変更しました。下旬には金利が上昇幅を縮小した局面でショート幅を拡大しました。残存期間構成は、デュレーションの方針に合わせ、長期ゾーンのアンダーウェイト（UW）を中心に運営しました。

今後の運用方針

上記の見通しのもと、デュレーションはベンチマーク対比でショートを中心に運営し、金利水準や外部環境、需給環境の変化に合わせて調整します。残存期間構成は、長期ゾーンのUWを中心に、デュレーション方針やイールドカーブ（利回り曲線）の形状に応じて調整します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

ファンドの特色

1. 国内債券マザーファンド（D号）の組入を通じて実質的に、主として日本の公社債に投資することにより、信託財産の安定した成長と収益の確保を目指した運用を行います。
2. NOMURA－BPI（総合）をベンチマークとして、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
 - 主としてデュレーションと残存構成の調整によりベンチマークを上回る投資成果を目指します。
 - デュレーションと残存構成の調整は、景気動向・物価上昇率等のマクロ経済要因のほか、為替・海外金利等の市場外部要因や債券市場の需給動向を含めた投資環境分析に基づいて行います。
3. 投資対象は、原則としてA格相当以上の格付けを有する公社債とし、信用リスクや利回り格差等を考慮して組入銘柄を選定します。
 - 格付けは原則として主要格付機関から取得します。
 - ※格付記号は、一般的な長期債務格付けを表示していますが、格付機関により異なる記号を使用している場合があります。
4. 公社債の組入比率は原則として高位を保ちます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

投資リスク

その他の留意点

- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2001年1月31日設定）

決算日

毎年1月30日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。



三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に0.55%（税抜き0.50%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理费用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜き0.55%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ：https://www.smd-am.co.jp コールセンター：0120-88-2976 【受付時間】午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。



三井住友・ライフビュー・日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

作成基準日：2026年05月29日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本S T O 協会	備考
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○			○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	
株式会社S B I新生銀行（S B I証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1 ※2

備考欄について

※1：ネット専用※2：委託金融商品取引業者 株式会社S B I証券

ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- NOMURA－BPIに関する一切の知的財産権その他の一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.